



平成28年3月22日

「自ら学び、共に考え、夢の実現めざして行動する子の育成」
~みんなで創ろう！笑顔あふれる陵ヶ岡~

第2回学校評価アンケートの集計結果について

早春の候。中学校へと巣立っていく57名の子どもたちは、大きな夢を胸いっぱいにふくらませていることでしょう。そして、卒業生を「あこがれのリーダー」として慕っていた306名の在校生は、託された思いを胸に、お兄さんお姉さんの卒業を心からお祝いしています。5年生はもちろん、他の学年の子どもたちも卒業生への「ありがとう」のメッセージを校舎内の壁面掲示として表現しています。

私たち陵ヶ岡小学校教職員一同は、巣立っていく子どもたちの前途をお祝いすると共に、卒業生の保護者の皆様に心よりお慶び申し上げます。今回の第2回学校評価アンケートでは、応援してくださる多くの保護者の声とともに、学校の対応に対しての厳しいご意見、または今後改善すべき点に関するご意見もたくさんいただきました。こうしたご意見は全教職員に周知するとともに、教育に携わる者として再度襟を正し、「一人一人を徹底的に大切にする」京都市の教育理念に鑑み、今後の改善策を話し合い実践していく所存です。これからも様々な場面で保護者の皆様の忌憚のないご意見を頂ければと考えております。

さて、遅くなりましたが2月に実施いたしました今年度第2回目の学校評価アンケートの集計結果についてお知らせいたします。前回と同様にお子様一人につき一枚のアンケートをお願いいたしましたところ、約90%の保護者の方から貴重なご意見をいただきました。お忙しい中たくさんのお母様の皆様にご協力いただきありがとうございました。アンケートの各項目は、比較検討できるように前回と同じにしました。また、保護者用アンケートの自由記述欄では、前回に引き続き、本年度より取組を進めております「話し合い活動」や「集会活動」に関してお尋ねするようにしました。

以下のアンケート結果は「出来ている」「だいたい出来ている」の合計の割合で分析しました。また、紙面の関係上、特筆すべき項目についてのみ掲載いたしました。

児童アンケートから

今回も低中高学年別に集計をしています。また、本年度は「特別活動」(学級会・かがやきグループ・集会活動・各行事など)の研究を進めています。子どもたちが自分たちの力で企画し実践していく自主的自立的な力をつけることが、子どもたちの学力を高めることにつながると思っています。

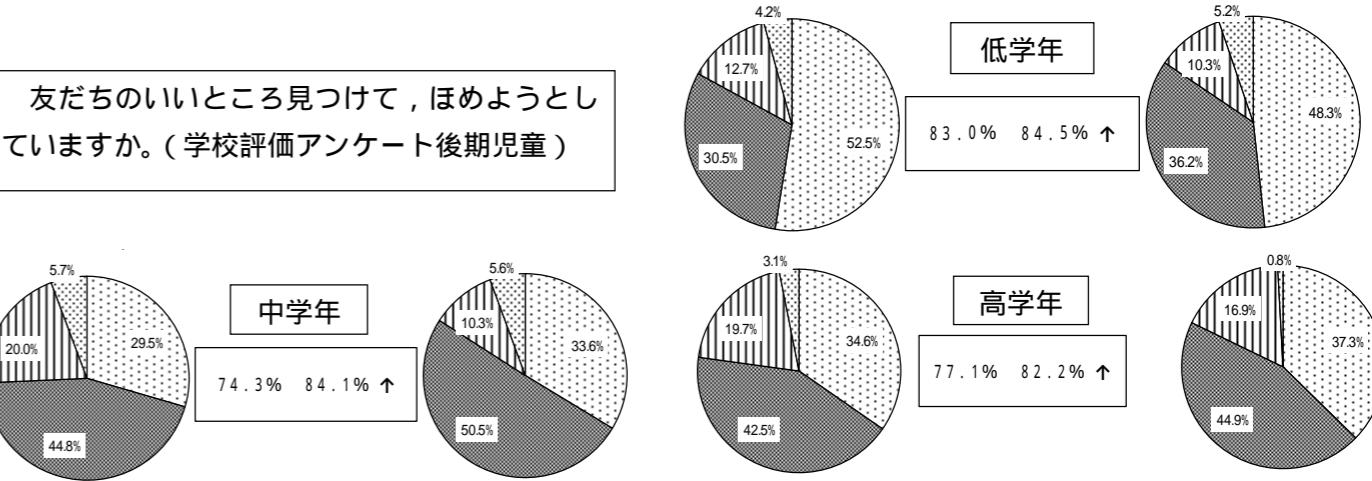
そこで今回は、特別活動でつけたい力がアンケートにどのように反映されているかを中心にみていくたいと思います。尚、前回10月に実施いたしましたアンケート結果と比較しています。紙面左側の円グラフが前回10月のアンケート結果、右側が今回のアンケート結果です。「出来ている」「だいたい出来ている」の合計の割合で比較し、その変化を矢印で表しています。また紙面の関係上、すべてのグラフが掲載できません。申し訳ありません。

「自分や友だちを、大切にしていますか。」の項目では、低中高学年とも上昇しています。特に高学年では、91.4%から96.6%と5ポイント上昇しています。また、「友だちのいいところを見つけて、ほめようとしていますか。」という項目についても、低中高学年すべてで上昇しています。特に中学年では10%ほどの上昇がみられます。学級会の取組やかがやきグループ(たてわりグループ)

での活動の中で友だちのがんばっている姿に触れたり、学級の取組と一緒に企画したりする中で、お互いに認め合い大切にしようという気持ちが少しずつ養われているのではないかと思います。

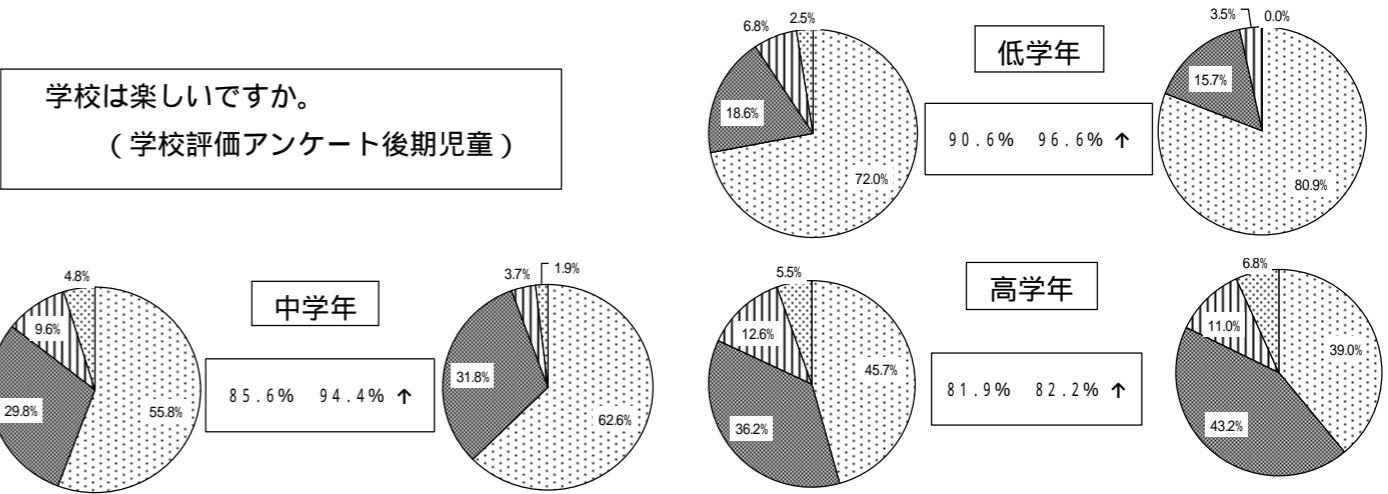
ただ、その内訳を見ますと学年によっては「できている」が前回よりも下がっている学年もあります。また、学校生活の中ではまだまだ友だち同士のトラブルもあります。「特別活動」の取組が一定の成果を示し始めたと分析をしていますが、今後も取組を継続していく必要性を感じています。

友だちのいいところ見つけて、ほめようとされていますか。(学校評価アンケート後期児童)



「学校は楽しいですか。」の項目についても、低中高学年すべてで上昇しています。特に低中学年では大きな上昇がみられます。低学年では約6ポイント、中学年では9ポイント近く上がっています。「あこがれられる6年生」としての自覚を持ち、リーダーとして下学年を引っ張っていく6年生をテーマにかがやきグループ(たてわりグループ)の活動を進めてきました。毎月「かがやき遊び」を実施したり、「1年生を迎える会」や運動会、「ごみゼロ」の取組など「たてわり」での活動が増えたことがアンケートの結果に表れていると思います。「自分もみんな6年生になりたい。」という思いが、陵ヶ岡小学校の子どもたちみんなで楽しい学校にしていく原動力となるよう今後も取組を進めていきます。

学校は楽しいですか。
(学校評価アンケート後期児童)



毎回掲載しています「自分からあいさつをしていますか。」の項目については、低中学年では上昇していますが、高学年では90.6%から85.5%と下がっています。毎回こうした傾向が見られますが、高学年が率先して日常的にあいさつをするように意識を高めていきたいと思います。自分たちでつくる学級から自分たちでつくる学校へ意識が高められるよう「特別活動」を中心とした取組を進めていきたいと思います。

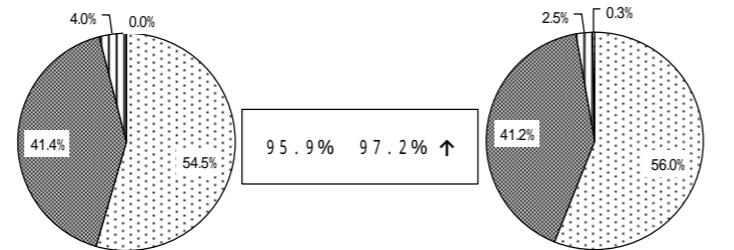
「先生の授業は、楽しくわかりやすいですか。」という項目では、低学年・高学年で下がっています。特に高学年では78.8%と5ポイント近く下降しています。教師として「授業」が本分です。常に「どの子にもわかる授業」を目指して授業改善に取組んでいますが、まだまだ子どもたちに届いていない現状を真摯に受け止め、さらに授業研究に取組んでいきたいと考えています。

保護者アンケート

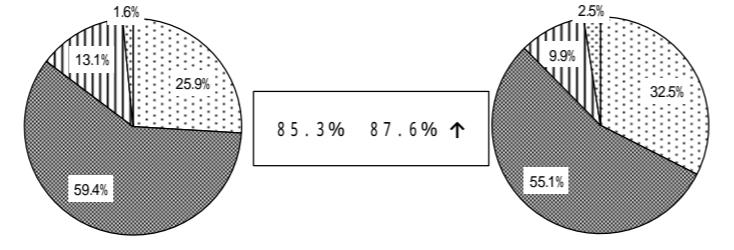
今回は保護者のアンケートも結果も子どもたちと同じ項目についてみていきたいと思います。保護者アンケートにつきましては、一人の児童につき1アンケートとしてお願ひをしましたところ約90%の回答をいただきました。全保護者を対象として児童と同様に前回と比較しています。

「お子さんは、自分や友だちを大切にしていますか。」と「学級は、友だちのがんばりを認め、温かく支え合う集団となっていますか。」という項目については、どちらも上昇がみられました。しかし、後者の項目については「出来ていない」が前回よりも若干増えています。また「学校は楽しいと感じていますか。」という項目についても少し下がっています。このことはまだまだ取組が甘いということを厳しくご指摘いただいたととらえています。すべての子どもたちが自分の力を充分に発揮できる学級・学校をめざしてより研鑽を重ねていきたいと思います。

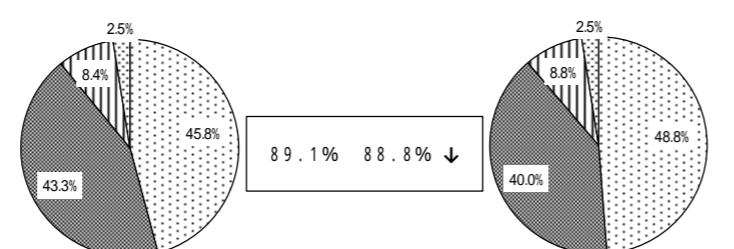
お子さんは自分や友だちを大切にしていますか。(学校評価アンケート後期保護者)



学級は友だちのがんばりを認め、温かく支え合う集団となっていますか。(学校評価アンケート後期保護者)

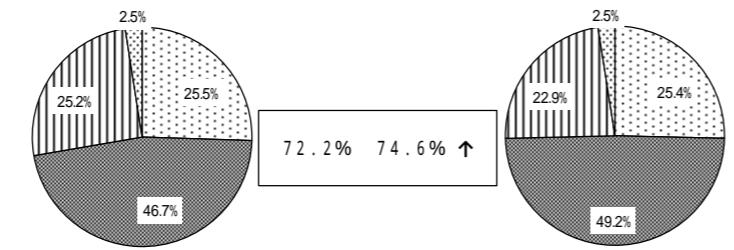


お子さんは、学校が楽しいと感じていますか。(学校評価アンケート後期保護者)



「自分からあいさつをしていますか。」の項目については、少し上がっています。昨年度から取組んでいますあいさつ運動「さわやかマンデー」の取組も少しずつご理解いただいているととらえています。また、見守り隊の方々の子どもたちへの声かけも少しずつご家庭へ地域へと広がっているのではないかと思います。

お子さんは、自分からあいさつをしていますか。(学校評価アンケート後期保護者)



最後に「授業が楽しく、よくわかるといっていますか。」という項目については、上昇しています。各教科の授業をはじめ学級会の様子などを参観していただいて評価していただいていると思います。ただ、上述しましたように同じ項目の子どもたちの評価は下降傾向にあります。子どもたちにも、保護者の皆様にも「楽しくてよくわかる授業」と感じていただけるように努力してまいります。

保護者アンケート から

保護者アンケートでは「ご家庭で大切にされていること」を中心に回答頂いていますが、今回は「特別活動」の中の「話合い活動」や「集会活動」について子どもたちがお家でお話しされていることをお尋ねしました。たくさんの子どもたちの様子やご意見をいただきましたが、紙面の関係上、代表的なご意見を記載させていただきます。

保護者アンケートより抜粋 「お子さまが、『話合い活動』や『集会活動』についてお話されていることがありますならお書きください。」

- ・かがやきグループの6年生に優しくしてもらっているのがうれしいようで、先日も「あーあ、もうすぐ6年生卒業しはるしさみしいな。」と言っていました。また、かがやきグループの他学年のお兄さんたちが面白いらしく、かがやきグループの活動がとても楽しいようです。
- ・他学年のお兄さんやお姉さんと関わることができ、優しさを感じ、自分自身も、そうなりたいとよく言っています。
- ・たてわり活動での上級生のお兄さんたちとの交流がとても楽しいようです。「6年生の人がこんなことを言ってはった。」など目をキラキラさせながらお話してくれます。同級生とのやりとりとも、学童でのやりとりともちがう新鮮さ、楽しさがあるようです。グループでの活動というのも上級生と気負わずやりとりできてよいのかなと思います。
- ・「みんなの話を聞けるのが楽しい。違う意見が聞けるのも良いし、自分と同じ意見でもその人の考えていることが分かるので良い。人の前で自分の意見をわかりやすく発表するのがうまくなつたと思う。」そうです。
- ・学校外で私があまり見かけないお子さんと、あいさつしたり、話をしたりする姿を見ます。たてわりの友だちのようでした。他の学年と仲良くなることは地域のつながりが深まることにつながってとても良いと思います。
- ・本人が所属している図書委員の活動のことはよく話してくれます。仕事を任されているという使命感が嬉しいそうです。先日の「リーダーにバトンをわたす会」も帰ってきてからキラキラした目をしながら、「今日からリーダー！！」と話していたのがとても印象的でした。
- ・6年生なのでかがやきグループの中心となって下級生たちの世話をやってがんばっていることが子どもの話の中でわかりました。

上記のようにたくさんのご意見をいただきました。概ね肯定的に子どもたちを応援してくださっている様子がよくわかりました。しかし、冒頭にも書きましたが、陵ヶ岡校の教育に対する厳しいご意見も頂いております。もう一度全教職員で陵ヶ岡校の教育の在り方を見直していくとともに、保護者の皆様のご支援ご協力を得ながら今後も子どもたちのための取組を続けていきたいと思います。



学校運営協議会の理事の皆様のご意見より

3月17日(木)に行われました「第3回学校運営協議会」では、今回のアンケート結果について理事の皆様からいくつご意見を頂く中で、全体を通して概ね良好な結果であったと評価いただきました。しかし、昨今の子どもたちを取り巻く様々な厳しい状況に対し、学校だけでなく保護者の皆様、そして地域の皆様が一体となって取組む必要性がさらに高まっていることを確認いただきました。すべての子どもたちに確かな学力を保証するため、地域ができる役割を明確にし、今以上に学校に協力していく準備があることをお話しいただきました。今後とも、子どもたちの「学力」向上に向けて、学校運営協議会の皆様のご協力を得ながら様々な取組を進めていきたいと思います。

陵ヶ岡小学校教職員一同

今回のアンケート結果や保護者の皆様から頂いた陵ヶ岡校の教育に対するご意見、また学校運営協議会の理事の皆様からのご意見を深く受け止め、今後とも「一人一人を大切にした教育」の具現化に努めて参ります。子どもたちの夢の実現めざして、今つけておかなければならぬ力を明確にしてさらに取組を進め、「笑顔あふれる陵ヶ岡」を保護者の皆様、地域の皆様そして子どもたちとともに創っていきたいと思います。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。